

町会長連合会だより



平成22年2月1日

第3号

発行 佐野市町会長連合会
編集 会報編集委員会

唐沢山…藤原秀郷公の居城跡で、深い歴史を持つ山

全市一斉清掃を実施 福田富一栃木県知事も参加！

5月31日、前日の雨も無事に上がり各町会の協力のもと、全市一斉清掃を実施しました。

佐野市町会長連合会は、全市一斉清掃などの活動が評価され「平成20年とちぎの環境美化県民運動功労団体表彰」を受賞いたしました。

この度、福田県知事がその活動を視察に来られ、同日に開催されている秋山川清掃会場では、岡部市長や篠崎町会長連合会会長、地元の中学生、地元町会の方々と一緒に汗を流されました。

今回の清掃活動で出たごみは、総重量約10トンでした。参加する方々の理解なしでは成し得ない事業であることを改めて感じるとともに、地域の環境美化活動に、これからも各町会がより一層力を入れていかなければならないと実感いたしました。



とちぎの環境美化 県民運動とは…

県民一人ひとりの実践によって、地域環境の美化と資源の有効利用を促進すること。環境美化活動を通して地域社会における県民の交流や協力を深め“とちぎの人間力”形成に資することを目的としています。

佐野市町会長連合会はこの趣旨に賛同し、毎年5月の最終日曜日に全市一斉清掃を実施、地域における環境美化の強化に取り組んでいます。



地域の環境は私たち自らの手で守りましょう！

永年勤続の町会長・町会役員の方が 表彰を受けました

1月13日、佐野市町会長新春
祝賀会（佐野市文化会館）、1
月29日栃木県自治会連合会会長
研修大会（宇都宮市文化会館）
において、長年にわたる町会活
動や地域の社会福祉向上に寄与
された方々が表彰を受けまし
た。（敬称略）

【栃木県自治会活動功労者知事
表彰】

片柳義弘 茂呂山町

【栃木県自治会連合会自治振興
功労者表彰】

坂本里夫 富岡町（東部）

廣瀬次男 富岡町（北部）

小野一郎 堀米町（内堀米）

【佐野市町会長連合会永年在職
町会長20年表彰】

田中正美 若宮下町

【佐野市町会長連合会永年在職
町会長10年表彰】

坂本里夫 富岡町（東部）

廣瀬次男 富岡町（北部）

小野一郎 堀米町（内堀米）

【佐野市町会長連合会永年在職
町会長5年表彰】

川崎 元 本町（佐野）

小野邦夫 植野町（台南）

熊倉功雄 伊勢山町

林田 享 奈良測町



藤倉 準 下町
倉持 武 角町
峰崎 高 小見
五十畑清 栃本下
飯田明生 戸奈良西
【佐野市町会長連合会永年在職
町会役員表彰】

小沼 晃 久保町
福原勝夫 植下町
片上英二 富岡町（北部）
小松原安男 堀米町（安良町上）
金原元助 船越北
青木靖治 山形
飯田 豊 中
松島和夫 下秋山

市長との 懇談会を開催

8月3日、葛生地区公民館に
おいて岡部市長と理事25名の懇
談会を開催いたしました。

当日は真夏の茹だるような天
候でしたが、懇談会も予定時間
をオーバーする約2時間の熱い
話し合いを行いました。

懇談会における質疑の要旨は
次のとおりです。

① 市営バスの今後の運営方針 について

【理事】 先日市営バスを利用した
ところ乗降客がほとんどいませ
んでした。今後の運営計画をお
聞かせ下さい。

【市長】 市営バスの利用者は高齢
者の方が多く、今後の利用者増
が危ぶまれています。市では、
夏休み子どもバスポートや8月
の祭り無料デーなどを実施し、
市民の皆様にもバスに乗って
いただく動機づけを行ってい
たいと考えております。将来的
にも持続可能な市民の足として
考えておりますので、積極的に
PR活動を進めてまいります。

② 佐野市の将来像について

【理事】 市内には6つの工業団地
があり、2年後には北関東自動
車道も開通します。新都市事業
も含め何年も前に手がけた事業
が今完成しているわけです。ぜ

ひそのような未来の佐野市への
事業計画をお聞かせ下さい。

【市長】 私は1期目の4年間、新
市の基礎固めに力を注ぎまし
た。2期目の本年からは「飛躍」
をテーマとした施策展開を図り
ます。

具体的には交通の利便性を生
かした交流拠点としての「県南
の中核都市」を目指します。物
流の拠点として、北米やロシア
を視野に入れたグローバルな展
開を図るとともに「観光立市」
による人の交流などを促進しま
す。本市の優位性は揺ぎ無いも
のと考えています。

③ 北関東自動車道IC周辺開 発について

【理事】 現在北関東自動車道路の
工事が着々と進んでいます。が、
インターチェンジ周辺の開発に
ついてお教えください。

【市長】 インターチェンジ周辺開
発につきましては、現在戸奈良



石塚地区の約18haを開発予定地
として基本計画を策定いたしま
した。今後は、社会情勢を十分
考慮しながら、本地区を産業振
興拠点として位置付けていく予
定です。

④ 岩舟町との合併について

【理事】 岩舟町には慈覚大師とい
う大きな歴史財産もあり、合併
すれば観光にも寄与すると思え
られますが、市長の考えをお聞
かせ下さい。

【市長】 岩舟町の住民の皆様の意
思を尊重しながら対応してい
たいと考えております。受け入
れ体制はできていますので、今
はその動向を静観している状態
です。

町会に加入しましょう!

町会は皆さんからの会費などを基に
いろいろな活動を行っています。

- 1 自主防犯パトロールや自主防災活動
- 2 地域のお祭りでの人々の交流や子ども会、敬老会への協力
- 3 地域の文化の伝承
- 4 清掃活動をととしての環境美化活動
- 5 地域の事業案内や市役所・学校・警察などからの情報の回覧



空店舗を利用した「いきいきサロン」
(100円でお茶飲み放題、高齢者の集いの場です)

11月12日、千葉県松戸市内の常盤平団地自治会を理事21名が視察しました。

常盤平団地は、人口約8千人、棟数170もあるマンモス団地ですが、平成13年に死後3年を経過した白骨死体が発見され、翌年にも4か月が経過した死体が発見されたそうです。

危機感を感じた中沢卓実会長を中心に自主的に「孤独死対策」に乗り出し、「まつど孤独死予防センター」「福祉ようす相談」「いきいきサロン」など次々に事業に着手し、団地内のコミュニケーションの場をつくり出しました。

中沢氏から、孤独死に地域差、経済格差は無いと強く教えられ、私たちにとっても身近な問題として今後の対策が必要と考えさせられました。

松戸市常盤平団地自治会を視察 ——孤独死を考える——



平成21年度 佐野市町会長連合会 事業経過と予定

- 5/13 第1回理事会
- 5/20 通常総会
- 5/31 全市一斉清掃
- 6/17 第2回理事会
- 6/26 栃木県自治会連合会総会
- 7/15 管外視察研修会
- 8/ 3 市長との懇談会
- 8/15 町会長連合会だより「からさわ」第2号発行
- 10/ 1 栃木県自治会連合会研修会
- 10/30 第3回理事会
- 10/30 余熱利用施設視察
- 11/12 松戸市常盤平団地自治会視察
- 12/ 9 第4回理事会
- 1/13 佐野市新春祝賀会
(永年在职町会長・役員表彰)
- 1/29 栃木県自治会連合会
会長研修大会
- 2/ 1 町会長連合会だより「からさわ」
第3号発行
- 2月 栃木県自治会連合会
県南ブロック会議
- 3月 第5回理事会



視察したのは金曜日の午後でしたが、平日にもかかわらず多くの利用者が訪れており、こうした施設が今後円滑に利用されるよう、町会として利用促進活動も視野に入れていく必要があります。

いて説明を受けた後、施設の現地見学を行いました。

余熱利用施設は、ごみを焼却する際のエネルギーを130℃の高温水とかえる交換機を利用して、お風呂やプールに利用しているとのこと。

10月30日、今年4月にオープンした余熱利用施設（みかもリフレッシュセンター）を理事28名が視察しました。

市のクリーン推進課長より佐野市における、ごみの処理の仕組みや1日に焼却されるごみの量（約100トン）、最大発電量1990KWを施設内電力として利用していることなどにつ

余熱利用施設を視察



里山林を活かす
地域整備事業の推進奈良刈町会長
林 田 享

奈良刈町会の誇れるものとして、浅間(せんげん)の火祭りをはじめ、小察(こまつ)神社、荒澤不動尊、庚申堂の祭りがあります。特に浅間の火祭りは、佐野市観光協会の夏の協賛事業として盛大に開催されています。

近年、唐沢山築城の調査が進められ、藤原秀郷公への関心が高まっております。秀郷公の一族が当地に住みついで、浅間山山頂で火を焚いたのが火祭りの起こりとも伝えられています。また、山岳信仰の隆盛時の安政時代には、浅間講が盛んになり、多くの人々で賑わっていたよう



です。参道には、記念碑も残されています。

今日では、山頂から関東一円が見渡せることから、唐沢山の散策と共に多くの人たちに親しまれているところです。

こうした浅間山の管理と身近に楽しめる里山林としての活用を、佐野市が実施する里山林整備事業の指導を受け町会役員と協議を図り、また山林所有者の同意を得て、今年から2ヶ年の事業として進めることになりました。

この事業は、里山林の下草刈りや老木の除伐をはじめ、安全な遊歩道の整備が主な目的となっており、浅間山周辺環境整備を図ることにより、今後の地域活動の更なる活性化を期待しております。

わが町自慢

犬伏新町会長
矢 島 堅 司

「自分のまちは自分でまもる。」を合い言葉に、平成16年から町会組織として防犯部を立ち上げ、夜間パトロールや小学生の下校時見守り活動を行ってきました。メンバーは各班から選出された方、高齢者団体の新町クラブ等の協力で実施しており、警察庁の地域安全安心ステーション推進実施地区に認定されたり、栃木県知事表彰も受けました。またとちぎTVや全国防犯協会広報誌で全国にも紹介されました。地域のコミュニケーション活動では、7月に子供夏祭りを2日間に亘って行い、子供御輿と山車が町内を回り、有志で夜店を出し、お年寄りから子供まで町内総出のお祭りになります。



新町薬師堂

町内の米山に薬師堂があり関ヶ原合戦前の慶長5年、この薬師堂で真田親子が徳川方と豊臣方に分かれて付く事になった密議の場所だと伝承され、脇を川が流れていた跡が今でも残っておりますが、親子はこの川の橋を渡ってそれぞれに向かった事から真田親子の別れ橋として今も語り継がれています。町会ではこの伝承を元に、観光資源としての整備を進めたいと考えています。



芝居舞台の下座

昨年の秋、町会公民館の整理をしていたら芝居舞台の下座が出てきました。昭和50年に補修した記録がありますが、組み立ててみると大変立派なものでした。早速郷土博物館に調査を依頼しておりますが、これだけ立派な下座から推測すると本舞台はさぞかし立派なものだったのではないかと、多くの皆さんに見て戴くと、しばらく公民館に組み立てたまま保管する事にしました。

編集後記

皆様、健やかな新年を迎えられたことと存じ上げます。

平成21年は、大変な変化の年でありました。戦後連綿と続いておりました自民党政権が民主党政権へと引き継がれました。民主党政権の掲げる「官から民へ」と、脱官僚の政治家主導による政治に期待したからでありますでしょうか。

佐野市におきまして、約300にわたる交付金等の見直し、市長より有識者・学識経験者の方々に諮問されました。

その結果、当佐野市町会長連合会に対する交付金も、その縮減対象とされたということで、次年度の事業計画の再検討が求められるところであります。

再検討にあたっては、短絡的に事業等を廃止することなく、市民生活に益するような方向での模索が必要となります。

発行者 佐野市町会長連合会

TEL 027-18501

栃木県佐野市高砂町1番地

佐野市役所行政経営課内

TEL 0283-2013005

発行責任者 篠崎芳朋

編集委員長 三井 健

編集委員 石田清純 上岡良雄

藤倉 準 飯田明生

太田敏治

佐野市町会長連合会は全域167町会で組織されています。